

り。之に他の三本を圖に示すが如く同じ間隔で
又に附着する。そこで前の柄を此の又の中央に附

着するのであるが、脚の端は削つて稍尖らしても
よい。

保育の此頃

神戸幼稚園保母 佐藤満壽

近來教育界上の新問題として其名高きモンテッソリーリ女史教育法は其感覺練習に於て筋肉教育に於て將又賞罰なしの訓練に於て其の効果著しきものあり而て女史がかくまで偉大なる効果を擧げ得し功績は實に我教育界の一大光明なりとす。されど同方法を我國保育に應用するに當りて尤も心すべきは徒らに方法のみを倣ひて女史の精神を忘るるなからん事にこそ。

されば我神戸幼稚園に於ては同方法の應用の第一着として二三ヶ月來試みつゝある所を少しく左に記さん。

幼稚園時期に於ける感覺練習は尤も必要にして此時期に於て諸感覺を練習せざれば成長の後此諸感覺は十分なる發達をなす能はずこれ實にモンテッソリーリ女史が意を特に此時期に於ける感覺練習に用ひる以所なりといふべし。

一、視覺練習としては石、貝、大豆、小豆、ドングリ藤の實、桐の實、エウカリの實等の自然物及木片、金輪、等の材料を二種或は三種を混じたるを分類せしむる場合あり。又はボール紙にて次第に大きさを減ずる所の圓形（最大を直徑三寸五分とし最小を直徑四分とす）十個を作り、各半面は同色の色紙を以て貼り他の半面は各々異りたる色紙

○感覺遊

を以て貼りたれば幼兒は之を使用する場合同色の面を用ひて最大のものより最小のものに至る迄順次に並べ又は重ねる事により其大きさの差異を覺ゆる事を得しむ又は相異りたる色の面を開ひて色の區別を知らしむる事を得。

二、^{△△△△}觸覺練習としては數個の布袋の中に各異りたる物品（視覺練習に用ゐたると同一の材料）を入れ袋の口を閉ぢ之れに觸れしめ其何物たるかを當つる方法にして此等當るものも當てしむる者も幼兒自らなさしむる事とせり。又幼兒をして目を閉ぢしめ種々なる物品に觸るゝ事により其物の名稱或は形狀粗滑等を知らしむるが如き練習より始め次第に進みては一個の箱の中に數種の材料を混じ幼兒は目を閉ぢて各材料を別々に分類するに至る。

三、^{△△△△}聽覺練習としては樂音を辨別せしむるの必要あるを以て今其樂器を製作中にある。

四、^{△△△△}重さの感覺練習としては二個の物體を持ち較

ぶる事により其何れか重きかを當て更に其誤ならざるやを確めしめんがために輕便なる天秤を作り幼兒自ら二個の重さを實驗し得る事とせり。

○糸巻遊

^{△△△△}筋肉練習の必要なる又言を俟たず即ち基本的より部分的に及ぼすの方法として之を糸巻遊に課したり。

六寸四方の板の角々に短き棒を立てたるものを作り幼兒をして此棒に糸を巻きつけて糸のかせを作らしめ之れによりて肩の筋肉運動をなさしめ次には四方形の糸巻にかせとなしたる糸を巻かしむる事によりて手腕の運動となり更に二寸形の糸巻に巻換ゆる事により手首の運動となり又更に小さき花形の糸巻に糸かゝりをする事によりて指尖の運動をなさしむるなり此遊は一見興味なきが如きに似たれども之を糸巻競争又は糸かけ等の遊と連絡して面白き遊となる。

○自然遊

學校兒童の成績調査を見るに幼稚園を経たる兒童は之を経ざる者に比して凡ての點に於て優ると

雖も獨り數學に於ては互に優劣なきを認むこれ幼稚園に於て數的練習に乏しきに依ると云はざるを得ず此缺點を補はんが爲めに自然物を應用して興味のうちに自ら數的觀念を養はしめんとて次の如き遊を試みたり。

幼兒をして特に一定の時間を限りて庭園に誘ひ動植物礦物等に接近せしめ之に就て新に作りし數札（一より十に至る數を各札に色圓形紙を貼りて數を表はせしもの）を與へて各兒に其札に表はれたる數だけ自然物を採集せしむ（此數札は自然物に限らず他の遊にも使用する事あり）此他自然物を利用するの遊數多けれど之を省略す。

○日々の行

幼兒自ら着物を着又は脱ぐ等日常生活に慣れしめんがため幼兒自ら手拭のかけはづし足袋のぬぎはき紐結び室内の掃除等の練習をなす此遊は幼兒

の好む所にして競争に用ふれば一層興味あり又幼兒と同等の大きさの人形を作り之に衣服を着せしむる等の遊をなさしむる事あり。

以上述ぶる所はモンテツソリー女史教育法の應用の一端に過ぎざれど我等は之によりて從前の保育法の足らざるを補ひ得ると信ずるなり。而して實施以來日尙淺くして著しき結果を見ずと雖、自然遊の結果として幼兒自ら數に就て興味を感じ之を凡ての遊に應用するに至り又日々の行の遊の結果として園内に於ては手拭類の紛失少なく履物を整ひ自らの事は自ら辨ずる事に興味をもつに至れり。かくの如く指導する保母も亦己が期する所が不知不識の間に幼兒に影響するを思ひて思はず愉快を呼ぶに至る。嗚呼美はしきかゝる天職を與へられし我等保母は幸なる哉。

神戸幼稚園に於けるモンテツソリー研究の熱心は關西に有名なるものであります。則ち切に乞ふて此の報告を本誌に掲載すること致しました。（編者）